

## 履修モデル（コース制）

応用実務法学科に設置されるコースは、法学の知識を持ち、外国語の能力を高めることを目的として、1年次から語学関連の科目や各種の特設科目を専門的に学ぶものです。コースは、1年次から選択することができます。

### 国際法文化コース

法学の知識を持ち、英語での日常会話ができる人材の育成を目的とします。特に日本と欧米の法文化を学ぶ「特設科目（法文化1・2）」の授業では、法を通じて多角的な見方を養います。また、海外協定校での短期研修や交換留学の制度を利用して、異文化を体験することも可能です。

対象年次	1年次
------	-----

### 基本科目（履修モデル）

◎：コースの学生が必ず履修する科目 △：選択科目

年次	科目名	科目区分
1年次	基礎演習	◎
	リーガル・リサーチ	◎
	英会話 I	◎
	英会話 II	◎
	実践英語 I	△
	実践英語 II	△
	英語講読 I	△
	英語講読 II	△
2年次	教養演習	◎
	応用演習	◎
	実践英語 III	△
	実践英語 IV	△
	英語講読 III	△
	英語講読 IV	△
	特設科目 II（法文化1）	◎
	特設科目 II（法文化2）	◎
3年次	法律英語	△
	国際取引法	△
4年次		

### 推奨科目

年次	科目名	備考
1年次	情報リテラシー I	
	日本法制史	

年次	科目名	備考
2年次	情報リテラシー II	
	政治史	
	国際政治学	
3年次	西洋法制史	他学科履修
	比較法	他学科履修
	外国法 I	他学科履修
	外国法 II (フランス法)	他学科履修
4年次		
その他	特設科目 I (外国語文献講読・英語)	
	特設科目 I (資格取得)	
	特設科目 II (資格取得)	

### 選択科目

部門	科目名
総合基礎	教養特設科目 II (海外研修)

### 推奨項目

- 交換留学制度 (マカオ大学) の活用
- 国際化推進センターが実施している海外研修への参加

### アジア法政コース

法学の知識を持ち、中国語の日常会話ができる人材の育成を目的として、言語としての中国語に加え、中国の文化や社会状況、法制度など中国に関する内容を幅広く学びます。また、習得した中国語や中国に関する知識を実践し、広くアジアで活躍できる実力を身に付けるために、海外協定校での短期研修や交換留学の制度を利用することも可能です。

対象年次	1年次
登録条件	第2外国語が中国語であること

### 基本科目 (履修モデル)

◎ : コースの学生が必ず履修する科目 △ : 選択科目

年次	科目名	科目区分
1年次	中国語 I	◎
	中国語 II	◎
	中国語 III	◎
	中国語 IV	◎
	教養特設科目 II (中国入門 1)	◎
	教養特設科目 II (中国入門 2)	◎
	教養特設科目 II (中国文化 1)	◎

年次	科目名	科目区分
	教養特設科目Ⅱ（中国文化2）	◎
	特設科目Ⅱ（法律中国語基礎）	◎
	特設科目Ⅱ（法律中国語発展）	◎
2年次	中国語Ⅴ	△
	中国語Ⅵ	△
	教養演習	△
	教養特設科目Ⅱ（中国報道1）	◎
	教養特設科目Ⅱ（中国報道2）	◎
	教養特設科目Ⅱ（中国社会1）	◎
	教養特設科目Ⅱ（中国社会2）	◎
	特設科目Ⅱ（法律中国語応用）	◎
	特設科目Ⅱ（法律中国語実践）	◎
3年次	応用中国語	△
	特設科目Ⅱ（法律中国語商用）	◎
	特設科目Ⅱ（法律中国語総合）	◎
	特設科目Ⅱ（中国法）	△
	特設科目Ⅱ（韓国法）	△
4年次		

#### 推奨科目

年次	科目名	備考
1年次		
2年次		
3年次	外国法Ⅱ（アジア法）	他学科履修
	東洋法史論	他学科履修
4年次		
その他	特設科目Ⅰ（外国語文献講読・中国語）	
	特設科目Ⅰ（資格取得）	
	特設科目Ⅱ（資格取得）	

#### 選択科目

部門	科目名
総合基礎	教養特設科目Ⅱ（海外研修）

#### 推奨項目

- 交換留学制度（世新大学（台湾））の活用
- 国際化推進センターが実施している海外研修への参加